

宗四小だより 7月号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250
平成27年 7月 1日

学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども ○じょうぶな子ども

ハキハキあいさつ・返事！ 何でも全力で！

校長

坂口 栄二

早いもので、1学期最後の月の7月になりました。子どもたちには、1学期のまとめをしっかりして、楽しい夏休みを迎えてほしいと思います。

さて、今年度の学校経営のテーマの一つに、「ハキハキあいさつ・返事」を入れています。これを入れた理由は、昨年度の評価で、あいさつが課題であるという結果が出ていたからです。

今年度も、ハキハキした明るく元気なあいさつが飛び交うよう、様々な取組をしているところです。そのひとつの取組が「ハイタッチあいさつ運動」です。

私は、5月の連休明けから「おはようございます」のあいさつとともに、毎朝、正門や西門でハイタッチができるよう手を差し出しております。

実際にこの取組を始めてみると、ハイタッチを強制しているわけではないので、子どもたちの態度は実に様々です。

笑顔でタッチしてくる子。思いっきりタッチしてくる子。指先だけタッチしてくる子。周りの子がしないのでやりたそうでもしてこない子。差し出された手が見えないふりをする子。実に様々です。

そんな子どもたちの様子を見ていて思うことがあります。それは、**しっかりタッチしてくる子に対しては「いい笑顔でとても元気だな。きっと友達もたくさんいるだろうな。今日も楽しい学校生活を送ってくれるだろうな。」**と思います。逆に、**目をそらしてしまう子どもに対しては、「何か嫌なことがあったのかな。元気がないな。」**と心配してしまいます。

ところで、スポーツ番組を見ていると、ハイタッチをしている場面をたくさん見かけます。サッカーやバスケットボールでゴールを決めた時、野球でホームランを打った時、バレーボールでアタックを決めた時などたくさんあります。

これには理由があります。**ハイタッチには団結力を強めたり、モチベーションを高めたりする効果**があるのです。



コスモスの芽

今年度、宗四小の子どもたちのモチベーションを高め、**より明るく元気な挨拶ができるように、「ハイタッチあいさつ運動」**を始めたのです。

右の写真は、児童会で行っているハイタッチあいさつ運動です。今年度の児童会も考えて始めました。この取組で**宗四小の子どもたちの絆がさらに深まればいいな**と思っています。



実は、ハイタッチあいさつ運動を始めた理由がもう一つあります。

それは、**どんなことでも全力で取り組める子ども**に育ててほしいからです。

ハイタッチあいさつ運動は、強制ではないので自分の意思でやらないことも可能です。しかし、世界的にグローバル化が進み、**国際的な感覚を身につけることが求められている時代**です。ハイタッチや握手、ハグなどのスキンシップが当たり前の国もたくさんあります。

ハイタッチのように誰にでもできる簡単なことに対して、「**自分にはできない、やりたくない**」という理由でやらない「**やらず嫌い**」では、**国際化社会を生きていくのは難しい**と考えています。

ですから、ハイタッチを手始めとして、「**何でもとにかくやってみよう**」と考え、**取り組める子**になってほしいと思っています。それがハイタッチ運動を始めたもう1つの理由です。

子どもたちに、家庭や地域でも「ハキハキしたあいさつ」と様々な体験ができるようご支援、ご協力をお願いします。

航空写真および集合写真撮影について

宗岡第四小学校は、今年度創立35周年を迎えました。それを記念して航空写真および児童・教職員の集合写真を、以下の日程で撮影することになりましたのでお知らせします。

集合写真：7月2日（木）

航空写真：7月7日（火）

